

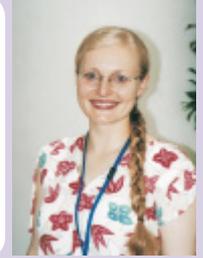
語学以外の専門分野で日本語を使って
仕事をしている外国人を紹介する

にほんご ハローワーク

第3回 語学を続けるには、まず心のつながりを作ることです

シュテファニー・ゼルマーさん

2003年から愛知県犬山市国際交流員として
観光交流課に勤務。学校訪問、多言語情報誌
の編集などの職務を通じ、母国ドイツの紹介
と犬山市の国際交流事業を推進。旧東ドイツ
生まれ。1996年全独日本語弁論大会で優勝、
海外日本語学習成績優秀者研修にて1997年
初来日、2003年から日本で暮らす。



Q1：現在の仕事について教えてください。

犬山市の国際交流員として観光交流課
で働いています。語学講座や料理講座な
どを通して一般市民や学生にドイツの日
常生活を紹介します。他には犬山市
に住む外国人向けの多言語情報誌の編集
長をしています。年4回、6カ国語で発
信して、幼稚園入園に関する情報や、プ
ールや図書館の利用方法など生活に必要な
情報を中心に、風邪をひいたときの対処
方法や、日本の食材を使って作る料理の
紹介、病気に関する日本語のコラムや英
語が通じる病院の紹介などもしています。
毎月2回発行されている『広報いぬやま』
でも『シュテちゃんの風だより』という
コラムを担当していて、ドイツから見た
日本の感想や風習の違いを日本語で書
いていますが、市民から「同感した」と
声をかけられることもよくあります。また
今年には愛知万博があったので、外国か
らの来客も多く、通訳や翻訳の仕事も多
かったですね。



Q2：日本と出会ったきっかけと勉強の 方法は？

ハレ市 (旧東ドイツ) に住んでいた
13歳のとき、ベルリンの壁が崩壊し、
はじめて好きな所に行ける自由を実感し
ました。高校卒業後に中国を旅行した
いへんなカルチャーショックを受けまし
たが、同時にアジアを強く意識したので
す。そして中国で出会った日本人に影響
されて日本語を勉強しようと思ったので
す。

その後ドイツのフンボルト大学の日本
語科に進みましたが、本科に進む前に一
年間、毎週20時間日本語ばかり勉強す
るコースがありました。最初の2週間で
ひらがなとカタカナをすべて覚えて、さ
らに毎週漢字を20個ずつ覚えなくては
いけないんです。これが非常に厳しくて、
途中でやめる人が多かったですね。ヨー
ロッパの人は漢字を見たことがなく、形
に慣れていないため、見ただけで圧倒さ
れてしまうのです。それにヨーロッパの
言語の場合、一つの単語に一つの意味で
すが、漢字は、形があり、意味があり、
さらにさまざまな発音を覚えなくてはい
けない。とにかく漢字には、苦労しまし
た。

しかし勉強をはじめて2～3年たつ
と、漢字が好きになってきました。漢字
の起源に興味が出てきて、日本人も読め
ないような難しい漢字になると、ますま
す闘志が燃えます。そのうちに、漢字を
見ると心が落ち着くようになってしま
した (笑)。今でも時々、夜寝る前に漢字
の練習をして心を安らかにしてから眠り
ます。書道も習いはじめたのですが、漢
字と向き合っていると無意識のうちに集
中力が高まりますね。

Q3：日本語の勉強を続けることができ た秘訣はなんですか？

大学1年のときに国際交流基金など主
催の全独日本語弁論大会があり、そこで
優勝したご褒美として国際交流基金日本
語国際センターで行われている「海外日
本語学習成績優秀者研修」に参加するこ
とができました。いままで習った日本語
が、本当に使えるのか不安がありました
から、日本語を使うチャンスができてと
ても嬉しかった。一人旅でまったく知ら
ない日本人と話せて仲良くなったこと
にも感動しました。そのおかげで、日本語
の勉強を続けたいと強く思うようになっ
たのです。

語学を続けるには、まず心のつながり
を作ることが大切だと思います。友だち
でも文化でもいいので興味をもつ。そう
すれば言葉を勉強する張り合いが出ます。

(シュテファニーさんについて、より詳
しく知りたい方は、ウェブサイト
[http://www.jpj.go.jp/j/japan_j/publish/
tsushin/index.html](http://www.jpj.go.jp/j/japan_j/publish/tsushin/index.html) をご覧ください)

『日本語教育通信』 第53号

2005年9月発行

編集・発行 独立行政法人 国際交流基金
日本語事業部企画調整課
〒107-6021 東京都港区赤坂1-12-32
アーク森ビル21F

The Japan Foundation
Planning and Coordination Div.
Japanese - Language Dept.

(Ark Mori Bldg. 21F, 1-12-32 Akasaka
Minato-ku, Tokyo 107-6021, Japan)
TEL. 03-5562-3525 FAX. 03-5562-3498
E-Mail jfnctt@jpf.go.jp

編集協力
財団法人 国際文化交流推進協会
Japan Association for Cultural Exchange
(ACE Japan)

(表紙イラスト：大石莊子) 古紙100%再生紙使用